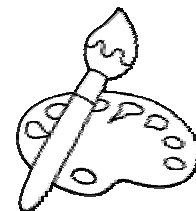


第5学年「図画工作科」シラバス

5年生ではこんな学習をします



学習の目標

創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにします。

材料などの特徴を捉え、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにします。

親しみのある作品などから、そのよさや美しさなどを感じ取り、それらを大切にしていきます。

学習の方法

友達の作品を見たり、美術の様々な表現に触れたりする事で、造形意欲を高めるようにします。道具などを選んで、色づかいや構図を工夫したりして表現します。

電動系のこぎりなどの用具の使い方を理解し、正しく安全に使えるようにします。

友達の作品を鑑賞し合い、よさを認め合います。

総合的な学習と関連を持たせて、幅広い活動ができるようにします。

学習の評価

図工科では、次の観点で評価します。

学ぶ意欲・態度

活動に取り組む様子・学習用具や材料の準備・作品などの提出物等

発想・創造する力

発言・設計図・作品等

技能

用具の使い方・作品等

鑑賞する力

発言・鑑賞カード等

年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容
前 期	1 心に残ったことを ・春の絵	春の様子を観察して絵に表します。
	2 粘土の板をつくって ・曲げて ねじって	いろいろな形の粘土の板を、つくって、曲げたりねじったりして作品をつくります。
	3 絵を動かして ・動くよ 動く 絵が動く	いろいろな動く仕組みのおもしろさを生かして、楽しい物語や絵をつくります。
	4 タワーを建てよう	アルミ針金の特性を生かし、美しさやバランスを考えた立て方や装飾を工夫しながら、思い描いたタワーを作る。
	5 不思議な絵	不思議に思える絵の理由を考えながら、表し方の面白さなどを味わう。
後 期	6 楽しく美しく伝えよう	形や色の組み合わせや構成を工夫して、社会や学校、住んでいる町について関心のあること、感じたことや考えたことをポスターに表す。
	7 アートレポーターになって	作品をよく見て表された内容を読みとり、自分の考えを文章にまとめる。
	8 電動系のこぎりを使って ・板を切りぬいて	電動のこぎりなどの道具を正しく安全に使い、構成を工夫して作品を作る。
	9 想像のつばさを広げて	自分が感じた雰囲気が伝わるように、心をひらかれた物語の場面を絵に表す。
	10 刷り重ねて表そう ・一版多色木版	ほったり刷ったりしながら、線や色の調子や重なりを確かめて、多色木版に表す。